

彗星課月報

Monthly Report of the Comet Section, July, 2010

課長：佐藤 裕久 *H. Sato*

幹事：村岡 健治 *K. Muraoka*

幹事：下元 繁男 *S. Shimomoto*

○7月の状況 (佐藤)

☆ 10P/Tempel (写真 a、b)

7月14日 22:10、宮城県大崎市の遊佐徹氏は、彗星課メーリングリスト (以下 oaa-comet ML という。) に「今朝の海外の comets-ml で、C. Rinner と F. Kugel が 10P の奇妙な構造を報告しています。本日、私も米国メイヒルで撮影しました。位置角 p. a. 74 度 - 256 度の方向 (軌道平面上) にダストトレイルのような細い筋が伸びています。また、拡大像では、中央集光部から位置角 p. a. = 20 度の方向に 1' 程度の長さのジェットような吹き出しがあります。画像をホームページにあげました。

<http://space.geocities.jp/yusastar/#10P>
全光度はでかすぎて計測していませんが、おそらく 10 等ぐらいでしょう」とのコメントと位置観測報告があった。

16日 5:14、筆者から、oaa-comet ML に「…画像拝見しました。昨年の 22P や 2007 年の 2P の長いダストトレイルが思い出されますね…最初に報告した Francois Kugel (A77) の残差が少し大きいですね…」のコメントとチェックした残差を示した。

同日 20:16、遊佐徹氏から、同じく「…A77 の画像は、海外の ML でみましたが、かなり明瞭なジェットが p. a. 20 度方向に噴き出していましたので、それで引きずられているのかも知れません。これまで知られているダストトレイ

ルのリストが

<http://www.astro.umd.edu/~msk/projects/trails/>

にありますが、Spitzer などの赤外線観測衛星や、地上では 1-m 以上の大望遠鏡での観測ですので、これがダストトレイルなのかどうか半信半疑です。(津村さんが昨年 22P のダストトレイルを撮影してますね!) …」とのコメントがあった。

20日 22:01、遊佐氏から同じく「今日は、地球が 10P の軌道平面を通過する日で、軌道周辺のダストのチューブが濃く見える位置関係となるはずですので、さきほどメイヒルのリモートで撮影してみました (写真 b)。…総露光時間は 12 分で同じですが、14 日より「トレイル」の写りはよくなっているような気がします。」とのコメントと位置観測報告があった。

21日 23:59、東京都大田区の佐藤英貴氏から、同じく「…遊佐さん、10P のダストトレイルは見事ですね。私も G5 (ϵ 250 + ST-10) で撮りましたが、きれいに写っています。伸びている方向から考えて、首軸構造ではなく、軌道面に一致するダストトレイルであることは確かだと思います。ただ数日前に G2 (μ 300 + ST-8) で 24 分露出した際にはほとんど写りませんでした…」のコメントと位置観測報告があった。

この間、国内彗星観測者メーリングリスト (comet-obs) でも、多くの意見が交換された。

☆ C/2006 S3 (LONEOS)

7月5日 1:53、遊佐徹氏から oaa-comet ML に NEOCP object RN30B8D と題して「NEOCP object RN30B8D を、オーストラリア、ムールックの G9 でリモート観測したのですが、予報の位置には、15 等の明るい天体ではなくかわりに C/2006 S3 が、RN30B8D とほぼ同じモーションで写っています。私が観測したのは、十中八九 C/2006 S3 ですが、それ以外に RN30B8D なる別天体は存在するのでしょうか？佐藤英貴さんは、観測していませんか？」とのコメントと位置観測報告があった。

同日 6:29、筆者から、oaa-comet ML に「この天体は C/2006 S3 でした。NEOCP から C/2006 S3 = RN30B8D (July 4.70 UT) として削除されました。…」とのコメントと C/2006 S3 = RN30B8D として残差を示した。

同日 7:22、遊佐徹氏から同じく「…やはり C/2006 S3 でしたね。今年の 12 月 1 日以来の観測になりました。ずいぶん息の長い彗星だと思って、吉田さんの HP を見たら近日点はまだまだ先の 2012 年春なんですね…」とのコメントがあった。

同日 7:37、佐藤英貴氏から同じく「…RN30B8D は私も遊佐さんの少し前に観測し、明らかに C/2006 S3 なので、コメント欄に書き込んでおいたら、そのすぐ後に削除されました。しかし、

G9 は ST8 に替ってから写りが悪くなって残念です」とコメントされた。

同日 8:03、遊佐徹氏から同じく「…私のちょっと前に、佐藤さんをお見かけしましたので、やはり観測されていたと思っていました。最初、視野の中心にあった 9 等の恒星が、バースト直後の彗星に思えてしまって、眠気が吹っ飛びました。二枚目以降が FTP に転送されるまでしばらくかかったので、それまで一時間弱、興奮状態を楽しめました。その後、それがただの恒星であって、結局問題の天体も C/2006 S3 だと気づいたときの落胆は大きかったです^^ ; G9 は、最初っからダークが引かれたキャリブレーションのファイルが落とせて便利ですが、ノイズが多いですね。アーカイブにあるダークを差し引いても、同じようなノイズなので、楽な方を選んでいきます」と返答された。

○7月に発見されたその他の彗星

☆ P/2010 N1 (WISE) 7月 5.48 日 UT、WISE によって明るい核状集光と南東に 60" 延びた尾のある彗星を発見され、その後 J. Luthe (Mauna Kea, Canada-France-Hawaii 望遠鏡) によって少なくとも 10" の尾が延びている彗星状と観測された (IAUC 9157, 2010 July 10)。

その他明るい彗星は、C/2007 Q3 (Siding Spring), 81P/Wild, 103P/Hartley 等であった。

● 眼視等観測報告

C/2009 K5 (McNaught)

2010	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
July	18.76	12.1	1.1'	3	-	-	5/5	4/5	EOSX2*	張替憲	150 秒露出

10P/Tempel (写真 a, b)

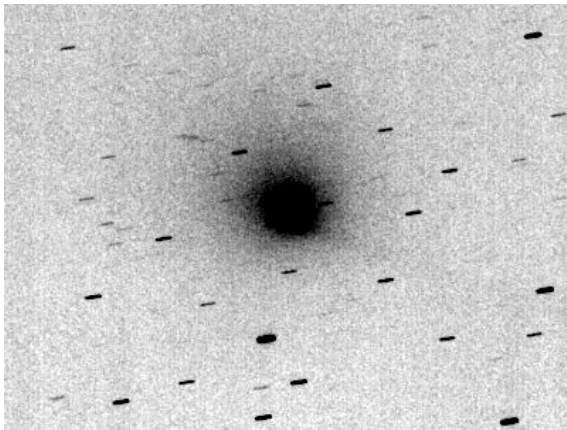
2010	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
July	12.65	9.6	5'	4	-	-	3/5	3/5	25×10-cmB	佐藤裕久	
	18.67	8.6	5.7	6	-	-	5/5	4/5	EOSX3*	張替憲	150 秒露出
	20.74	9.4	4	4	-	-	3/5	3/5	25×10-cmB	佐藤裕久	①
	21.74	9.1	5	4	-	-	3/5	3/5	25×10-cmB	佐藤裕久	
	21.76	8.4	5.7	6	-	-	3/5	3/5	EOSX2*	張替憲	210 秒露出
	22.74	8.5	6	4	-	-	4/5	4/5	25×15-cmB	松本幸久	②
	22.77	8.8	5.7	4	5'	0°	4/5	-	45×20-cmC	永島和郎	③

65P/Gunn

2010	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
July	18.65	13.7	1.3'	2	-	-	5/5	4/5	EOSX2*	張替憲	150 秒露出

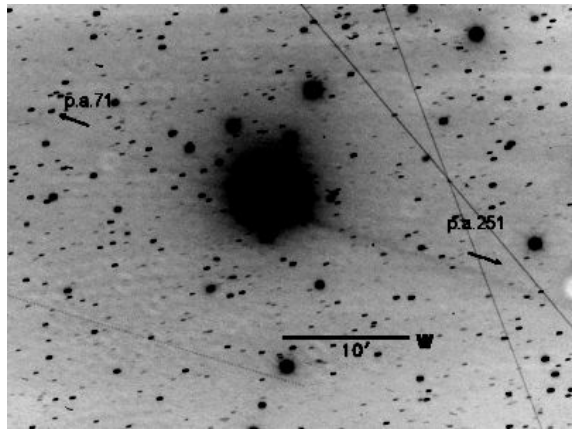
* 200-mm f/2.8 lens

- ① バックが白っぽい ② ややコマが西に偏心
 ③ 見た目は大きな楕円形の「コマ」だが、実際は尾が視線方向（後方）に伸びているものと判断される。



(写真 a) 10P/Tempel 2010, 07, 19

2h40.0m-3h00.5m (JST) exp. 60s×14 TOA130+CCD
 三重県伊賀市上野 田中利彦氏



(写真 b) 10P/Tempel 2010, 07, 20

19h03.2m-18.8m (JST) exp. 120s×6 25-cm L+CCD
 宮城県大崎市 遊佐徹氏
 米国ニューメキシコ州 Mayhill. リモート観測